

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しあわせ駅山内		
○保護者評価実施期間	2026年2月20日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年2月20日		～ 2026年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが充実している。 運動遊び、園庭遊び、自家菜園、室内では各児童の好みに合わせた空間がある。	児童が興味を持って取り組めるよう、視覚支援を充実させている。	菜園スペースでの活動を充実させ、種まきから収穫までの一連の作業を児童皆で取り組めるよう企画していく。
2	活動内容が充実しており、児童が通所を楽しみにしている。	活動が偏らないよう、日々プログラムを検討しマンネリしないよう工夫している。	児童の要望とりいれながら、さらなる充実を図り活動の幅を広げていけるよう取り組む。
3	一人ひとりの寄り添った支援と、児童保護者からも安心できる場所として浸透している	児童の特性に応じた対応を心掛け、声掛けはCCQ (Calm、Close、Quiet) をテーマに常に意識している。	職員会議を行い、対応のバラツキが無いようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会の活性化 保護者同士のつながりが希薄	保護者会の開催日時がニーズに合っていない。また開催回数が少ない。	四季折々のイベントを企画し、保護者やきょうだい児の参加型の内容検討する。
2	・地域交流の促進 地域に開かれた事業所運営	山内自治会の賛助会員となり、地域のイベントに参加しているが、地域住民を巻き込むようなイベントは開催できていない。	地域の他事業所との交流を図る
3	社会福祉協議会への参加や児童発達支援センター棟の関連機関との連携やそれらの助言や研修参加が未達	専門機関との連携や情報収集が課題	本社や他事業所とも連携して情報収集を行い、積極的に研修等に参加できるよう体制を整える。

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		しあわせ駅 山内		公表日		2026年 3月 13日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8	1	各部屋に職員を配置し、子どもの特性に応じて対応できるようにしている。	配置基準は満たしているは、構造上死角が多い建物となっているため、基準以上の配置が必要となる。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	1	活動によって空間を分けている。 絵カードを活動しながら、視覚情報で伝えている。	お庭の岩や尖った石などの危険な箇所がある。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	3	利用後はきちんと清掃をし、次も気持ちよく使えるようにしている。	おもちゃの整理ができる棚を検討中。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9		個別対応ができるよう体制を整え、児童のニーズに応じた場所を提供できるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		8	1	朝礼や会議等で連携を図り、業務改善に努めている。	パートタイム勤務職員との連携を強化していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	1	保護者の意見や要望を把握し、改善を図るよう努めている。	相談窓口となる職員を明確化していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	1	日々思っていることを気軽に相談し合えるよう朝礼や申し送りを通して、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	3		今後連携を図っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		9		研修を通して自分自身のスキルを磨いたり、今後の自分自身の成長に繋げられるようにしている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8	1	ホームページにて公表している。	新入職員への周知が不十分のため、入職時に周知を徹底していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		8		担当者会議にてニーズを確認し、個別支援計画書へ反映している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7	2	職員会議を行い、全職員へ周知し支援を提供している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9		全職員へ周知し必要な支援を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7	2	会社で統一された書類を使用し、こどもの日々の活動やちいさな変化等を記録している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		7	2	職員会議にて担当者を振り分け、その中で立案・実行・反省をおこなっている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	朝礼にて確認を行っている。	職員の足並みがそろわないこともあり、支援プログラムの内容やすり合わせが必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	その日の状況によるが、しっかりと情報を共有し今後の支援につなげられるよう工夫している。	送迎に時間をとられ、参加が難しい職員もいるのが現状。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	日々の支援の中で気になる事や子どもの変化をキャッチした際はしっかりと記録に残し、他の職員と共有できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	関係機関や担当者と連携をとり、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	児童発達支援管理責任者または管理者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		今後連携を図っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	必要に応じて各関係者と情報共有をしたり、または事業所の情報を提供したりし相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	必要に応じて書類を提供したり、支援内容を共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		今後連携を図っていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	地域の児童館や施設を利用し、地域交流を通して活動を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		LINEを活用しながら連絡を行っている。またSNSにて情報を発信している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4		現在保護者を対象としたペアレントトレーニングは当事業所では行っていない。今後他事業所のカモかりで行えるよう調整していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にわかりやすく伝えるよう心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	年に2回程度、保護者会のご案内をしている。	参加世帯が少ないことが課題なので、開催日を工夫しながら、参加しやすい日程で開催し、3～4ヶ月に一度開催していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	迅速な対応ができるよう体制を整えていく。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		LINEやインスタグラムを活用しながら情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		自治会員として毎月イベントに参加している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		職員・保護者への周知が不十分なので、今後は新人研修や利用契約時に周知徹底していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		職員・保護者への周知が不十分なので、今後は新人研修や利用契約時に周知徹底していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	3	与薬依頼書を活用し事前に確認できている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	アレルギー食物を摂取しないよう、掲示して周知している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット報告書を作成し、いつでも閲覧でき再発防止にむけた対策を検討し共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		社内で委員会を設置し研修を開催し、全職員へ周知している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			現在、対象児童がいないが、対象児童がいる場合は、マニュアルの下行うことを全職員に周知していく。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		しあわせ駅 山内				公表日	2026年 3月 13日		
						利用児童数	9	回収数	6
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					環境整備に力を入れ、子ども達が十分に遊べるスペースを確保できるよう努めています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2				規定に応じた職員を適切に配置しています。玄関先等、職員紹介を作成し掲示していきたいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1				必要に応じてバリアフリー設備を整えていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					子ども達が活動しやすい空間づくりを心掛け、清潔に保てるよう努めて参ります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					今度も一人ひとりのニーズに合わせた支援が提供できるようにしていきます。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1				職員間で話し合いを重ね、支援計画に沿った支援を提供できるようにしていきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			1		プログラムが偏らないよう、工夫して支援を行っていきたく思います。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1				定期的に保護者会や面談日を設け、気軽に相談できる機会を増やしていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3				年に2回程度、保護者会のご案内しております。開催日を工夫しながら、参加しやすい日程で開催し、3~4ヶ月に一度開催していきたいと思っております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1		緊急時対応のマニュアルを策定し、対応できるよう管理しています。保護者様が安心できるよう説明を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1				年に2回実施しております。訓練の様子をお便りやSNSを通じて発信していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					